

◇ばんどう文芸◇

短歌

今井 清 選

忘れぬ初産の日は暑き夏八月九日原爆忌の日よ

いつからか姉^{わえ}ねの前を歩く孫自分のことを俺などという

シルエットゴリラと思ふ夕間暮れ電柱張りを昇る蔓草

昭和期に産婆の亡母の使ひたる器具は今なほクレゾール臭す

水を飲み秋気を吸って草を抜く晴天の下何不足なし

孫嫁は一にも二にも「ありがとう」たった五文字に心が温む

大正琴の音色に魅かれ早や四年わが弾く駄音に酔う人ありや

みはらしの丘のコキアに埋もれてブルーの心明るく染まる

紫蘇の香にまみれ実を抜く老妻の背は丸くなり八十路のあゆみ

突然の妻の病にあせるわれ娘の介護同居の有難さ

研ぎ上げて切れ味確かむサクサクとキャベツを細く細くきざみぬ

道端に自生の藜^{あかこ}の硬き茎妻との二本愛用の杖に

卒寿という齢重ねて今更に終の行路の羅針盤欲しや

些細なる事を気にせる無駄を止め老いは未来に夢を託すや

【評】一首目、人生の中の二つの体験が巧く繋がりに印象深い。二首目、男孫さんの成長を機敏にとらえ面白い歌になった。三首目、ゴリラにたとえているのは幼稚のようだが、気持ち素直に出ている。風景をきちんとこれだけ纏めるのは、容易ではない。終りの二首、「終の行路」「老いは未来に」どちらも高齢者の歌で、行き先を有意義に生きようとしている姿がすがすがしい。思えば広報の短歌の投稿者は全く高齢者かそれに近い。共に短歌に頑張りましょう。

短歌の作品を募集します！

皆さんからの短歌を広く募集します。投稿される方は、住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、掲載希望月の前月20日までにばんどう文芸に選考券にお送りください。なお、俳句につきましては、当面的にお休みさせていただきます。なお、選考券 今井 清 〒130610604 幸田新田4355 0292(7)(5)2864

11月30日(いいみらい)は「年金の日」です!!

ご自身の年金記録や年金見込額を確認し、将来の生活設計について考えてみませんか。

「ねんきんネット」をご利用いただくと、パソコンやスマートフォンからいつでもご自身の年金記録を確認できるほか、ご自身の年金記録からさまざまな条件を設定した上で、年金見込額の試算をすることもできます。

詳しくは、日本年金機構ホームページをご覧ください。

- 日本年金機構ホームページ
(ねんきんネット)

https://www.nenkin.go.jp/n_net/



問 保険年金課 ☎0297(21)2187